

## 令和6年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 山形県

農業委員会名： 寒河江市農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

任期満了年月日 令和8年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	18	18
認定農業者	—	7
認定農業者に準ずる者	—	3
女性	—	4
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	9	9	9

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,794
農業経営体数	1,091

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,676
女性	644
40代以下	65

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	239
基本構想水準到達者	29
認定新規就農者	26
農業参入法人	1
集落営農経営	11
特定農業団体	
集落営農組織	11

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,360	1,080				2,440

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の目標

### 1 最適化活動の成果目標

#### (1) 農地の集積

##### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	2,440 ha	1,366.5 ha	56.0 %
課題	農業従事者数の減少、高齢化等により貸し手が増える現状にある一方、担い手等の借り手が不足している。また、圃場整備されていない水田や中山間地等の耕作が不便といった条件の不利な農地は借り手が少なく、集積が進みにくい。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

##### ② 目標

農地の集積の目標年度	令和9年度	集積率	80 %
今年度の新規集積面積	51.5 ha	農地面積(C)	2,440.0 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,418.0 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	58.1 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

#### (2) 遊休農地の解消

##### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	60.3 ha	32.1 ha	28.2 ha
課題	中山間地域を多く抱える地区の遊休農地が増加傾向にあり、全体として増加している。農業者の高齢化、減少が進む中、遊休農地の固定化傾向も加わり、一部解消しても遊休農地面積を減少させることが難しい。		

##### ② 目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	32.9 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	6.6 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

###### b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	22.3 ha
--------------------------	---------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	農業者の意向把握や地域における話し合いを通じての遊休農地の再生のほか、遊休農地の区分の見直し、耕作以外の農地の利用等についての検討を図る。また農業者の意向等を踏まえ、農地中間管理機構等の動向を伺いながら解消事業について協議することに加え、市農林課所管事業の活用等についての協議を行う。
-------------------------	--

###### イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	7.3 ha
---------------------------	--------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者	令和5年度新規参入者
	3 経営体	9 経営体	7 経営体
	1.7 ha	11.6 ha	2.0 ha
課題	農業従事者数の減少、高齢化等により貸し手が増える現状において、担い手等の借り手が不足している。また、圃場整備されていない水田や中山間地等の耕作が不便といった条件の不利な農地は借り手が少なく、集積が進みにくい。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	12.8 ha	16.4 ha	10.9 ha	13.4 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			1.34 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	18 人
		農地利用最適化推進委員の人数	9 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回	
取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月～10月	新規参入の促進	目標地図作成に向けた意向把握及び新規参入(貸付同意)の強化
11月～翌年1月	農地の集積	農林課と連携しての農地の集積・集約化に向けた地域との話し合いの強化
翌年2月～3月	遊休農地の解消	農地法第32条に定める利用意向調査の強化

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回		
開催時期	12月	相談会名	新規就農者相談会
参加者数	40名	開催場所	市内設置会場
相談会の内容	先輩農業士からのアドバイス、新規就農者に対する就農レポート、新規就農者に対する支援策等の紹介及び新規就農者からの相談応答等		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)